

地方議会の女性議員比率と NHK 受信料の未払い率の関係

小川乃愛 222x205x

1. はじめに

日本は世界の先進国と比べて女性の社会進出率がかかなり低い。最近になってようやく問題視され女性の社会進出が推進されるようになってきたが、実際全国ではどのような状態になっているのか気になったのが今回の最終課題の背景になっている。また、どういう県が女性進出率が高く、どういう県が低いのか、何か特徴がないか調べることにした。

女性の社会進出率をデータで見るのは難しい。そこで今回は女性進出率が高いということは、その県の中では女性の意見が通りやすくなっているはずだと考え、地方議会における女性議員の比率に注目をした。反対に、女性進出率が低い県というのは、昨今の“女性の社会進出率を高めよう”という情勢が受け入れられていない、また、浸透していない県であるはずだ。個人的なイメージではあるが、女性の社会進出を受け入れられないということは、古風なイメージなのでそういった特徴に関連のあるものがないか考えた。堅い、古風というキーワードで NHK を思いついたので、NHK 受信料の支払い率と女性議員の割合に関係がないか可視化によって見てみることにした。

2. 方法

地方議会の女性議員比率のデータは総務省の HP の“地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調等”を元に用意した。

(https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/data/syozoku/r01.html)

NHK 受信料については、支払っていない方が女性進出の割合が高そうと思い、NHK の HP の“都道府県別推定世帯支払率”から、未払い率を計算した。(http://www.nhk-cs.jp/jushinryo/known/pdf/osirase_siharairitu_kako2019.pdf)

まず初めに、数字で見るよりも、カラスケールでみる方が、直感的にこの県が多いなどわかりやすいかと思い、日本地図のカラスケールで2つのデータを見られるようにした。(図1)

○ 地方議会の女性議員比率 ○ NHK受信料未支払い率 ○ 両方表示



図 1：日本地図を利用

次に、地方議会の女性議員比率と NHK 受信料未支払い率に相関があるか調べるため、x 軸に地方議会の女性議員比率、y 軸に NHK 受信料未支払い率を ScatterPlot でプロットした。（図 2）

最後に、具体的な数字がどのようなになっているのか、また、全国順位はどうなっているのかを見られるように、BarChart で可視化した。

また、一つの県に注目できるように、日本地図から都道府県を選択すると相関図と棒グラフ側も対応して色が変わる機能をつけた。

3. 結果

まず、地方議会の女性議員率から見てみると、東京や東京近辺の県、兵庫、大阪、京都などの色が濃く、割合が高いことがわかる。反対に北陸の県や日本海側、東北地方などは色が薄く、割合が低いことがわかる。（図 2）

● 地方議会の女性議員比率 ○ NHK受信料未支払い率 ○ 両方表示

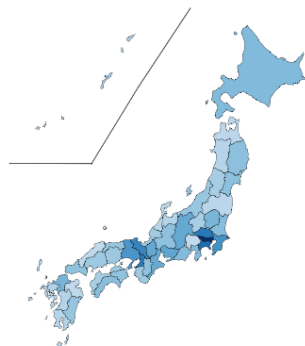


図 2：日本地図で見る地方議会の女性議員比率

次に NHK 受信料未払い率を見てみると、女性議員比率のときと同じように東京や東京近辺の県、大阪、兵庫、京都が特に色が濃く、割合が高いことがわかる。女性議員比率の時は目立たなかった北海道や沖縄も色が濃く、割合が高くなっているが、この二つ以外の色の濃い県は概ね同じと言えるだろう。色が薄い、つまり割合が低い県も女性議員の比率とかなり似ている。北陸や日本海側、東北の割合が低いことがわかる。

○ 地方議会の女性議員比率 ● NHK受信料未払い率 ○ 両方表示

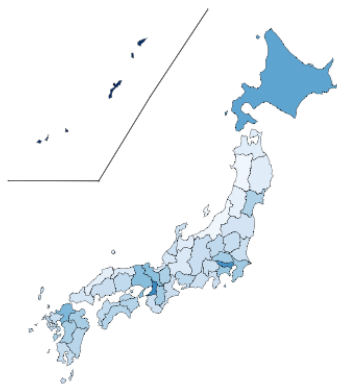


図 3：日本地図で見る NHK 受信料未払い率

地方議会の女性議員比率と NHK 受信料未払い率の相関は図 4 のようになった。ただし沖縄県が外れ値になっている。

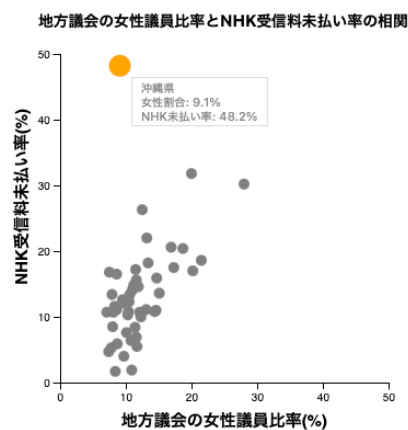


図 4：地方議会の女性割合の比率と NHK 未払い率の相関

具体的な値を含めた棒グラフは以下ようになった。(図 5)

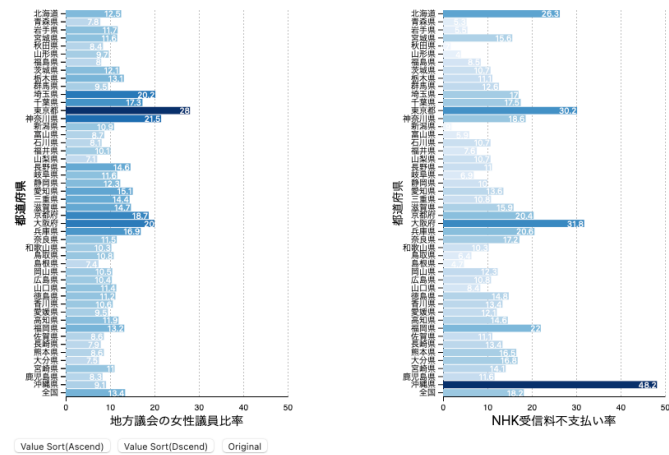


図5：それぞれの棒グラフ

順位で並び替えてある県に注目するとおおよそ近い順位を持つことが見て取れる。(図6,7)

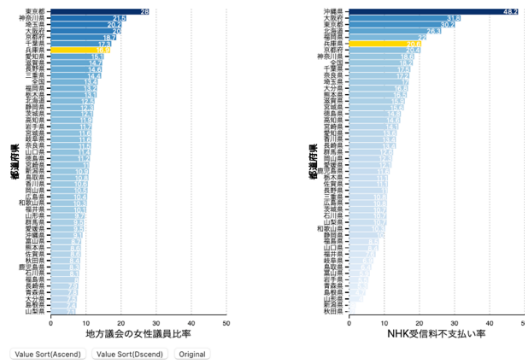


図6：兵庫県のそれぞれの順位

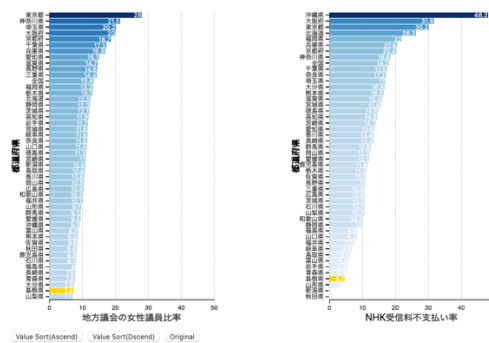


図7：富山県のそれぞれの順位

4. 考察

地方議会の女性議員比率について、図2より、大都市では女性議員の占める割合が高く、地方では低くなっているとわかる。NHK 受信率未払い率についても同様の分布をしており、図4の相関図からもわかるように、地方議会の女性議員比率と NHK 受信料未払い率

には相関があることがわかった。

地方議会の女性議員比率が大都市で高いのは、政府が女性進出を積極的に行おうとしている姿勢が届きやすい、またはすでに届いているからだと考える。大都市は人の流れやものの流れなど様々な流れが早いと、変化に柔軟に対応する力が身に付いているからこそだと考察する。反対に地方ではまだまだ、“女は家庭を守るもの”という古い考えが残っているのではないと思う。田舎ではまだまだ男社会という話はよく耳にする。

NHK 受信料の支払率について、様々な変化に迅速に対応する力を求められる大都市では、ネットが普及した今、ニュースもネットなどで見るようになり、NHK の受信料があまり支払われていないのだと推測する。反対に地方では古風な考え方が残っているからこそ、きちんと受信料を支払う人が多いのではないかと。個人的なイメージとしても、NHK 受信料を支払っている人は昔ながらの人そうだ、というものがある。

これらのことから、地方議会の女性議員比率と NHK 受信料未払い率は強い相関を持つのだと考える。変化に柔軟に対応する力のある都会では、女性進出率の割合も高く、また、ニュースをネットで確認するようになっているため、受信料未払率が高い。反対に地方ではまだまだ昔ながらの考えが残っており、女性進出率が低く、昔ながらであるからこそ、受信料をきちんと支払っている。

5. 結論

地方議会の女性議員比率は大都市ほど割合が高く、地方ほど割合が低いことがわかった。また、NHK 受信料未払い率も同様の分布をしており、これら二つには相関関係があることがわかった。地方でも NHK 受信料未払い率が高くなってほしいと願うわけではないが、堅く古風な考え方から新しい考えに対応していけるようになれば、結果として NHK 受信料未払い率も高くなってしまふかもしれないが、女性議員比率も高くなると思うので、そう願う。

6. 参考文献

地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調等

https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/data/syozoku/r01.html

都道府県別推定世帯支払率

http://www.nhk-cs.jp/jushinryo/now/pdf/osirase_siharairitu_kako2019.pdf